

■ 空港

稚内空港は、道内6空港とともに、運営が北海道エアポート(株)(HAP)に委託され、空港ビルは令和2年(2020年)1月から、滑走路等は令和3年(2021年)1月から、HAPによる運営が開始されました。

管内空港概要

名称	種別	設置管理者	滑走路規模	開港
稚内	国管理空港	国土交通省	2,200m×45m	昭和35年4月 (滑走路1,200m)
利尻	地方管理空港	北海道	1,800m×45m	昭和37年8月 (滑走路600m)
礼文	地方管理空港	北海道	800m×25m	昭和53年6月 (滑走路800m) (平成21年4月から運用休止中)

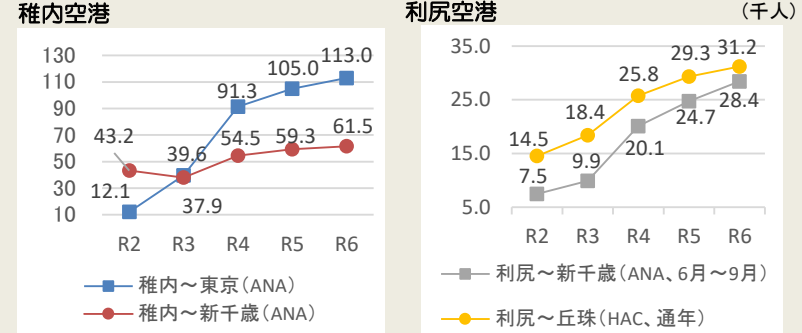
稚内空港のチャーター便

R7度 163便



令和3年(2021年)3月より全面的な民間委託による運営が始まった稚内空港

稚内空港・利尻空港発着便利用者数の推移



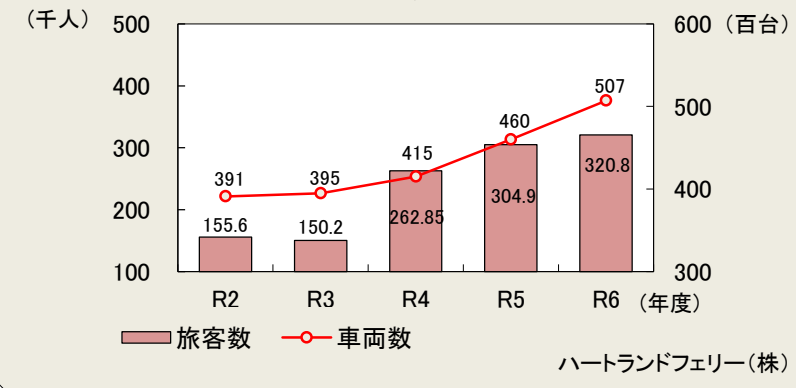
■ 航路

管内には、稚内と利尻島・礼文島、また、利尻島と礼文島を結ぶフェリーが運航しており、離島住民及び観光客の重要な交通手段となっています。

■ 利用促進の取組

宗谷総合振興局では、管内交通事業者の協力のもと地域の将来を担う小学生とその保護者に対して、公共交通を身近に感じてもらい、日常生活の利用につなげる「乗り物体験教室」事業を実施しています。

利礼航路旅客数及び車両数の推移



■ 港湾

管内の重要港湾である稚内港は、漁業基地であるとともに物流拠点となっており、稚内港の令和7年(2025年)の輸出入額は、約17億円となっています。

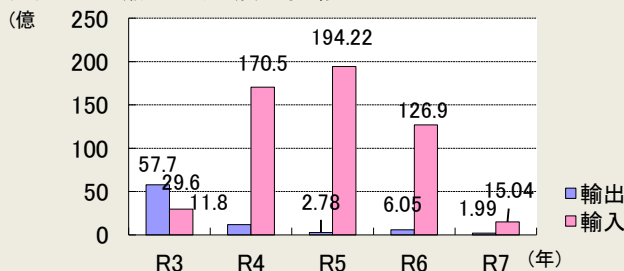
管内の港湾

稚内港 香深港 枝幸港
宗谷港 沓形港 鷺泊港

大型クルーズ船の入港

令和6年度 稚内港：飛鳥Ⅱ、にっぽん丸
沓形港：にっぽん丸、ハセアティック・スプリット

稚内港の輸出入実績の推移 (財務省貿易統計)



稚内港輸出品目 (令和7年)

(百万円)



稚内港輸入品目 (令和7年)

(百万円)



(財務省貿易統計)